

# 動物看護総合学科 [3年制 / 男女]

**入学者の受け入れ方針**  
アドミッションポリシー

動物看護総合学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 人や動物に対する思いやりの心を持ち、人と動物の共生を目指す人
- 3 動物看護学を修得する強い意志を持ち、動物を通して社会貢献する人

**教育課程編成・実施の方針**  
カリキュラムポリシー

動物看護総合学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 動物看護学のみならず、社会人基礎・健康管理・飼育・動物美容・トレーニングなど幅広い専門性を高める授業展開を実施する
- 2 動物愛護の精神に則り、人と動物の共生の思想と倫理観を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野を持ち、修得した知識・技術を融合し、動物看護師としての問題解決力・創造力を養う

**目指す人材像**  
ディプロマポリシー

動物看護総合学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる動物看護師としての力を身につけている
- 2 動物看護学・獣医療分野についての専門知識と技術、実践力を持ち、人と動物の健康や動物との共生に活用できる力を身につけている
- 3 動物看護師としての基本的な理論・技術を修得の上、命を尊重する倫理観、幅広い視野と問題解決能力を身につけている
- 4 コミュニケーション力を持ち動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身につけている

## 目指す資格

- 愛玩動物看護師免許 [国家資格]
- 鳥取大学認定 高度動物医療研修修了試験
- ジャパンケネルクラブ公認 トリマーC級ライセンス
- 犬と人の共生推進協会 しつけインストラクター検定B級
- サービス接遇検定2級

到達目標	1 年 次		2 年 次		3 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
看護における犬の扱い方を理解する。健康診断 (簡易) ができる。寄生虫の判別ができる。グルーミングができる。犬の心理を考え正しく接することができる。	各種検査ができる。問診ができる。基礎疾患を理解し、説明ができる。グルーミングが2時間以内に行える。部分カットができる。基礎的なしつけ (座れ・待て・伏せ) ができる。	手術の手順を理解する。手術器具の判別ができる。カットの形を理解する。担当犬のどこに触れても大丈夫のようにトレーニングする。	手術助手の方法を理解する。手術に合わせた器具の準備ができる。全身カットができる。他人が担当犬のどこに触れても大丈夫のようにトレーニングする。	疾病予防のための飼い主指導ができる。入院管理を理解する。時間を意識してトリミング作業ができる。応用的なしつけができる。	投薬指導ができる。応急処置の助手ができる。院内接遇ができる。2時間以内に全身カットを仕上げられる。お客様のしつけ相談に対応することができる。	
<b>カリキュラム</b>	<p>講義 社会人基礎講座 I</p> <p>講義 犬種標準学 I</p> <p>実習 グルーミング実習BASIC I</p> <p>実習 トレーニング実習 I</p> <p>講義 動物行動学</p> <p>講義 動物医療関連法規</p> <p>講義 動物感染症学 I</p> <p>講義 動物看護学概論 I</p> <p>講義 伴侶動物学 I</p> <p>実習 動物形態機能学実習 I</p> <p>講義 動物形態機能学 I</p>	<p>演習 コンピュータ実習 I</p> <p>講義 社会人基礎講座 II</p> <p>講義 犬種標準学 II</p> <p>実習 グルーミング実習BASIC II</p> <p>実習 トレーニング実習 II</p> <p>講義 動物感染症学 II</p> <p>講義 動物看護学概論 II</p> <p>講義 伴侶動物学 II</p> <p>実習 動物形態機能学実習 II</p> <p>講義 動物形態機能学 II</p> <p>実習 動物看護総合実習</p>	<p>演習 コンピュータ実習 II</p> <p>講義 社会人基礎講座 III</p> <p>実習 トリミング実習BASIC I</p> <p>実習 トレーニング実習 III</p> <p>講義 動物感染症学 III</p> <p>講義 動物臨床看護学各論 I</p> <p>講義 動物臨床栄養学 I</p> <p>講義 動物臨床検査学 I</p> <p>実習 動物臨床検査学実習 I</p> <p>実習 動物内科看護学実習 I</p> <p>実習 動物外科看護学実習 I</p> <p>講義 動物外科看護学 I</p>	<p>講義 ペット美容学 I</p> <p>実習 トリミング実習BASIC II</p> <p>実習 トレーニング実習 IV</p> <p>講義 動物病理学</p> <p>講義 動物薬理学 I</p> <p>講義 公衆衛生学 I</p> <p>講義 動物臨床看護学各論 II</p> <p>講義 産業・実験・野生動物学 I</p> <p>講義 動物臨床検査学 II</p> <p>実習 動物臨床検査学実習 II</p> <p>実習 動物内科看護学実習 II</p> <p>実習 動物外科看護学実習 II</p> <p>講義 動物外科看護学 II</p> <p>実習 動物看護総合実習</p>	<p>講義 ペット美容学 II</p> <p>実習 プロフェッショナルトリミング I</p> <p>実習 トレーニング実習 V</p> <p>講義 動物繁殖学</p> <p>講義 動物薬理学 II</p> <p>講義 公衆衛生学 II</p> <p>講義 動物臨床看護学各論 III</p> <p>講義 産業・実験・野生動物学 II</p> <p>実習 動物臨床検査学実習 III</p> <p>講義 動物内科看護学</p> <p>実習 動物臨床看護学実習 I</p> <p>講義 動物外科看護学 III</p> <p>実習 AAA実習 I (人間関係学含)</p> <p>実習 動物看護総合実習</p> <p>実習 アニマルセラピー実習 I</p>	<p>講義 動物繁殖学</p> <p>講義 動物福祉・倫理</p> <p>講義 動物薬理学 II</p> <p>講義 動物臨床看護学各論 IV</p> <p>講義 動物臨床看護学総論</p> <p>講義 産業・実験・野生動物学 III</p> <p>講義 動物医療コミュニケーション</p> <p>実習 動物臨床看護学実習 II</p> <p>実習 AAA実習 II (人間関係学含)</p> <p>実習 アニマルセラピー実習 II</p>
<b>スケジュール</b>	<p>4月 入学前学習、入学式、シザーテスト、穴吹祭、スポーツ大会、新入生オリエンテーション、夏休み、国内研修</p> <p>5月 鳥取大学特別講義</p> <p>6月 サービス接遇検定3級</p> <p>7月 鳥取大学特別講義</p> <p>8月 鳥取大学特別講義</p> <p>9月 看研研究発表会見学、海外研修 (※希望者)、インターンシップ</p> <p>10月 冬休み</p> <p>11月 春休み</p>		<p>6月 サービス接遇検定2級</p> <p>7月 鳥取大学特別講義</p> <p>8月 穴吹祭、スポーツ大会、夏休み、国内研修</p> <p>9月 Excel検定</p> <p>10月 アニコム講習会・試験</p> <p>11月 鳥取大学特別講義</p> <p>12月 看研研究発表会見学、就職対策特別講義</p> <p>1月 冬休み</p> <p>2月 インターンシップ</p> <p>3月 春休み</p>		<p>5月 インターンシップ</p> <p>6月 穴吹祭、夏休み、スポーツ大会</p> <p>7月 トリマー特別講義</p> <p>8月 鳥取大学動物高度2次診療実習・修了試験</p> <p>9月 国内研修</p> <p>10月 冬休み</p> <p>11月 看研研究発表会</p> <p>12月 卒業式</p> <p>1月 愛玩動物看護師試験 (国家資格)</p>	

主な科目内容	
犬種標準学 I・II	犬の種類と特徴を知ること、犬との触れ合い方や飼養方法を学ぶ。
ペット美容学 I	犬の健康維持と手入れの基本を学び、顧客の相談に対応できるようにする。
グルーミング実習 BASIC I・II	グルーミング (犬の美容) に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。
トリミング実習 BASIC I・II	トリミング (犬のカット) に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。
プロフェッショナルトリミング I・II	トリマーに必要な高度なトリミング技術を学ぶ。
動物繁殖学	繁殖に関わる解剖生理を学び、妊娠・分娩と新生子管理・遺伝学の基礎知識を習得する。
動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。
動物行動学	動物、主に犬についての生態、行動を学び理解する。動物と人間がいかに共存できるかを学習する。
トレーニング実習 I・II・III・IV・V・VI	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。
動物医療コミュニケーション	動物病院スタッフ間のコミュニケーション方法を学ぶ。
公衆衛生学 I・II	動物と人が共生するために必要な衛生環境の整備について学ぶ。
動物医療関連法規	獣医療現場及び公衆衛生、環境、動物関連の法規について学ぶ。
動物病理学	動物の疾患の原因や成り立ちについて学ぶ。
動物感染症学 I・II・III	動物の周りにある感染症についてその原因・成り立ちについて学ぶ。
動物臨床検査学 I・II	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。
動物臨床検査学実習 I・II・III	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、臨床検査看護学で学んだ知識の実践力を修得する。
動物臨床看護学各論 I・II・III・IV	様々な状況による看護方法の違いを学ぶ。
動物臨床看護学実習 I・II	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。
動物臨床栄養学 I・II	動物のライフステージ別の栄養管理や、疾患による栄養要求の違いを学び管理方法を理解する。
動物福祉・倫理	動物が幸福な生活を送るために必要な取り扱い方法や人と共存するための術を学ぶ。
動物看護学概論 I・II	動物看護を学術的に学び、看護を提供するために必要な知識を習得する。
動物外科看護学 I・II・III	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び術前準備から術中補助、術後管理までの周期の流れを理解し、安全な手術の実施に必要な知識を習得する。
動物外科看護学実習 I・II	手術準備や術中・術後管理、麻酔管理や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。
動物内科看護学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。
動物内科看護学実習 I・II	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力と修得する。
動物薬理学 I・II	薬剤の作用機序、投与方法、副反応、分類について学ぶ。
動物形態機能学 I・II	動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解する。
動物形態機能学実習 I・II	動物の身体の構造と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通して学ぶ。
産業・実験・野生動物学 I・II・III	産業動物及び実験動物の歴史や品種、飼育管理方法及び関わり、さらに日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。
AAA実習 I・II	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。
コンピュータ実習 I・II	コンピュータの基本操作から応用までを学ぶ。WordとExcelの資格試験合格を目指す。
社会人基礎講座 I・II・III	社会人として必要な常識・マナーを身につける。自立に向けての意識の向上を図り、就職活動の早期化・活性化を実現する。